

事業所名

重症心身障がい児放課後等デイサービスKou+N

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

25 日

法人（事業所）理念	寄り添いながら『こうしたい こうなりたい こうありたい』を目指す。 ★子どもたちのやりたいことが実現できる場所にしたい。 ★安心してお子様を預けて頂けることで、保護者様自身の時間も大切にできる。そんな事業所になりたい。 ★子どもたちの可能性を引き出しながら、ひとりひとりに寄り添った支援を目指せる場所でありたい。									
支援方針	・個性を尊重し個々の力を引き出す関りを大切にしています。 ・笑顔いっぱい楽しく過ごし、安心、安全で大好きと思える場所を作ります。 ・ご家庭や学校、その他関係機関との連携を図るとともに、子どもの目線に寄り添いながら共に成長していくことを目指します。 子供たちの特性や発達段階に合わせ、様々な経験を通して身体と心の成長をサポートします。									
営業時間	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
本人支援	健康・生活	安心して子どもを預けることができるよう、必要なバイタルや投薬状況を確認し、管理・記録を行います。 生活習慣（食事、衣服の着脱、排泄、睡眠等）本人に合わせて自分でできることをスモールステップで獲得していき、生活リズムが安定するようサポートしていきます。 心身の小さな異変に気づき対応していきます。								
	運動・感覚	五感に働きかける遊びを通して、様々な経験をし、本人の持つ身体機能の維持・向上を目指していきます。 「できる動作」を「当たり前動作」に変転できるよう職員と一緒に体幹や四肢をトレーニングし、自宅でも取り組めるように練習していきます。								
	認知・行動	場面の切り替えや次の活動の説明（言語・視覚的・聴覚的・触覚的支援）を行うことで本人が見通しを立てられるよう取り組みます。また、初めて行うことでも受容していけるように支援していきます。本人の「こうしたい」を大人目線で妨げることが無いような環境づくりに取り組みます。 空間・時間・数等の概念を形成していきます。								
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを色々な手法（言語・目線や指差し、身振り手振り、音声機器等）を活用し、意志の伝達出来るよう支援していきます。オノマトペや繰り返し言葉が多い絵本を読むことで「楽しい」「面白い」という気持ちから発声したいという「意欲」に繋げていき、50音の発声が聞き取りやすくなるように練習していきます。個々に合わせたスキンシップ遊びや寄り添い支援などを通して、子ども達との絆を深め、安心できる環境を作ります。								
	人間関係 社会性	職員が間に入りながら子ども同士が触れ合ったり関りを持つことで、お友だちのことを認識していけるように支援していきます。ごっこ遊びや見立て遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えをサポートしていきます。								
家族支援	・家庭での困りごとに対する助言やサポート			移行支援	・就園、就学などライフステージの切り替えを見据えた支援。 ・進路先や移行先への相談援助や情報提供。					
地域支援・地域連携	・保育園、幼稚園、学校、関係機関との連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助。 ・相談支援事業所との連携。			職員の質の向上	・外部研修 ・救命救急訓練（AED）、不審者対応、感染対策、虐待防止、身体拘束委員会開催などの事業所内研修。					
主な行事等	・お風呂遊び（7、8月） ・ハロウィン（10月） ・クリスマス（12月） ・避難訓練（年2回） ・季節を感じられるような遊び、製作、絵画活動を行います。									